

令和8年度 入学試験問題

世界史

注意事項

1. 問題冊子と解答用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 机の上の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認しなさい。
3. 受験票は、受験番号が見える面を上にして、机の上の受験番号シールと並べて置きなさい。
4. 受験票のほかに試験時間中机の上に置けるものは、黒鉛筆（和歌・格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（黒い芯に限る。ボールペン付きは不可）、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、時計（辞書・電卓・端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）です。
5. 解答用紙に、正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 携帯電話等の電子機器類は、必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておきなさい。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
7. また、試験時間中にかばん等の中で携帯電話等の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
8. 監督者の指示があるまでは、試験室から退室できません。
9. 監督者の説明を聞いて、正しい符号の問題冊子と解答用紙が配布されているか、確認しなさい。
10. 試験開始の合図があったら、解答用紙の所定の位置に受験番号シールを貼り付けなさい。なお、氏名は、どこにも書いてはいけません。
11. 問題は2ページから11ページまであります。試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合には、手を挙げて、すみやかに監督者に告げなさい。
12. 試験時間中気分が悪くなった場合は、監督者に申し出なさい。ただし、休養等に要した時間の延長は認めません。
13. 不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、同日に受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。
14. 解答用紙は必ず提出しなさい。問題冊子は持ち帰りなさい。

〔 I 〕 つぎの文章を読んで、下記の設問に答えよ。

前5世紀末のペロポネソス戦争終結後、アテナイに勝利したスパルタがギリシア世界の主導権をしばらく握った。その後、中部ギリシアのテーベが次第に勢力を伸ばし、前371年にはレウクトラの戦いでスパルタを破った。また、アテナイも復権をめざしたが叶わず、ペルシアの暗躍もあって、前4世紀半ばのギリシア世界では小国分立状態が続いていた。そのなかで、前4世紀後半、ポリスをつくらなかったギリシア人の一派であるギリシア北方のマケドニアが、フィリッポス2世のもとで軍事力を高めた。前338年、マケドニアは [a] の戦いでテーベとアテナイの連合軍を破ったのち、 [b] 同盟（ヘラス同盟）の盟主となり、スパルタを除く全ギリシアを支配下においた。フィリッポス2世はさらにペルシア遠征を計画したが、部下によって暗殺され果たせなかった。

前336年、フィリッポス2世の息子アレクサンドロスが後を継ぎ、20歳で即位した。前334年、アレクサンドロスはマケドニアとギリシアの連合軍を率いて、その後10年にわたる東方遠征へと出発した。アレクサンドロスは、前333年にシリア北部の [c] の戦いでペルシア王ダレイオス3世を破ったのち、南下して地中海沿岸地域とエジプトを征服し、再び東方へと向かった。そして前331年にはティグリス川を越えて、ガウガメラの戦いでダレイオス3世を再度破り、 [d] 朝ペルシアを滅ぼすに至った。その後もアレクサンドロスは東征を続け、ヒンドゥークシュ山脈を北上したのち、アム川流域の [e] およびその北方のソグディアナを経て、前326年にはインダス川を越えてインド北西部に到達した。しかし、長引く遠征による士気の低下を受けて、アレクサンドロスはインド中央部への侵入を断念して南方へ進路をとり、前324年、ペルシアの政治的中心地であったスサに帰還、前323年にメソポタミア南部のバビロンで急逝した。

アレクサンドロスの死後、ギリシアからインド北西に及ぶ広大な領土は、 [f] （後継者たち）と呼ばれるアレクサンドロス^{きか}麾下の将軍たちによって争われ、やがてセレウコス朝シリア、プトレマイオス朝エジプト、 [g] 朝マケドニアなどの諸国に分裂した。これらの国々は、ローマの東方進出とともに、前2世紀半ば以降、次第にローマ^(A)の勢力下におかれていく。最後まで残ったプトレマイオス朝エジプトは、前31年

(26 T世)

のアクティウムの海戦に敗れて、ローマの軍門に降った。

アレクサンドロスによる東方遠征からプトレマイオス朝の滅亡までのおよそ 300 年間で、ヘレニズム時代と呼ぶ。ヘレニズム諸王国の支配者層はおもにギリシア人であったが、ギリシア人が各地に定住してギリシア文化が東方へと波及し、各地域の文化からも影響を受けて独自の文化が生まれた。アレクサンドロスが建設したエジプトのアレクサンドリアは、プトレマイオス朝の首都となり、ヘレニズム時代の文化の中心地として繁栄した。プトレマイオス 1 世がつくった h と呼ばれる王立研究所では、内外の学者たちによって多様な学問が研究され、付属の図書館は古代世界最大規模であった。また、ギリシアの自然科学はのちのイスラーム科学の発展につながった。ギリシア美術の様式は西アジア一帯に広がり、1 世紀頃からガンダーラ地方でギリシア仏教美術として発展して、日本にまで影響を及ぼした。

問 1 文中の空欄 a～h を埋めるのに最も適切な語句を記せ。

問 2 下線部 (A) について、

ローマがギリシア世界を勢力下に収めるなかで、ギリシア文化がローマへと移入していくことになった。ギリシアとローマの文化的関係について、「とらわれのギリシアが、野蛮な勝利者（ローマ）をとらえた」と評し、『叙情詩集』『詩論』等の作品で知られる、前 1 世紀後半に活躍したローマの詩人は誰か。

問 3 下線部 (B) について、

- (1) この時代に共通語となったギリシア語のことを何と呼ぶか。
- (2) この時代に生まれた思想について、以下の用語をすべて用いて、120 字以内で説明せよ。ただし、句読点は 1 字とせよ。

コスモポリタニズム エピクロス派 ストア派

問4 下線部(C)について、

前3世紀後半にアレクサンドリアの図書館長を務めた学者で、地球が球形であり、太陽光が場所によらず平行線として地球に降り注いでいるという前提に基づいて、地球の周囲の長さを比例法によって算定した人物は誰か。

〔Ⅱ〕 つぎの文章を読んで、下記の設問に答えよ。

今日、トルコ系民族といえば、おもにアナトリアからバルカン半島東部にかけてのトルコ共和国を中心とした地域の人びとがイメージされるが、中央アジアにもトルコ系の諸国はいくつもある。だが古代におけるトルコ系民族の発祥地は、はるかに東方のモンゴル高原やアルタイ山脈方面であり、古代の中国の史書には丁零、高車、鉄勒などの名称で北方のトルコ系遊牧民の諸部族について記されていた。

6世紀半ば、モンゴル高原から中央アジアにかけて、トルコ系遊牧民の最初の帝国として [a] が興り、やがてアルタイ山脈辺りを境に東と西に分離して隋や唐と対峙した。唐との長きにわたる対決により西 [a] は8世紀初めに分裂し、東 [a] も衰退して最終的に8世紀半ばにトルコ系の [b] 族に滅ぼされた。東 [a] に代わってモンゴル高原を支配した東 [b] 可汗国も9世紀半ばには滅び、[b] 族を中心とするトルコ系遊牧民族は大挙してモンゴル高原から離れ西方に大移動し、その一部は天山山脈周辺に西 [b] 王国を建てた。さらに西方の中央アジア方面に進出したトルコ系の部族は [c] 朝を建てた。こうしたトルコ系民族の西進により、やがてパミール高原の東西にまたがる「トルキスタン」と呼ばれる地域が形成されることになる。

9世紀半ばから10世紀にかけて、アッバース朝の権威のもとでイラン系イスラーム王朝の [d] 朝がブハラを首都としてイラン東部から中央アジアを支配した。この王朝の東に隣接してその影響を受けた [c] 朝は、スンナ派イスラームを受容してトルコ系最初のイスラーム王朝となった。10世紀末に [d] 朝を滅ぼした [c] 朝の支配のもとで、中央アジアの支配体制や民族構成はイラン系からトルコ系へと変貌を遂げ「西トルキスタン」地域が形成され、さらにカシュガル方面の「東トルキスタン」地域のトルコ系民族もまたイスラーム化された。

11世紀はじめ、シル川下流域アラル海周辺のトルコ系セルジューク族は [c] 朝の支配を脱して南下し、今日のアフガニスタン方面にあったトルコ系ガズナ朝の地域に移動した。スンナ派のセルジューク族は軍事や統治の能力に長けて、1038年に族長 [e] のもとでセルジューク朝を興し、1055年にイランを支配していたシーア派の [f] 朝を破ってバグダードに入城した。アッバース朝のカリフはシーア派王朝の駆逐に尽力した [e] を讃えて、世俗界の支配者としての [g] の称号を公認した。

11世紀後半、初代 [e] を継ぐ2代と3代の [g] のもとで、セルジューク朝はイランを中心にアナトリア・シリア・アラビア半島方面にまで領土を広げ、官僚機構を整えて支配を確立し、独自の文化も華開いた。^(A) 第3代の治世においては、聖地エルサレムをシーア派の [h] 朝から奪い、またビザンツ帝国にも攻勢をかけた。その後 [h] 朝はエルサレムを奪回するが、こうしたセルジューク朝の攻勢にビザンツ帝国をはじめとするキリスト教勢力は危機感を抱き第1回十字軍が結成された。しかし第4代以降のセルジューク朝の本家は継承問題をかかえ分家や軍人たちの台頭や支配地域の反乱などにより衰退し、12世紀末に滅亡することになる。

本家の大セルジューク朝に代わって分家の王朝のなかで有力になったのは、かつてのビザンツ帝国領のアナトリアに興った [i] =セルジューク朝である。アナトリアには11世紀後半からトルコ系民族が続々と流入し、トルコ系の地域へと変貌した。[i] =セルジューク朝は13世紀前半に最盛期を迎えたが、13世紀半ば以降はモンゴル帝国の西アジア地域の分家にあたる [j] 国に支配されて衰退し、14世紀初頭に滅びることになる。

問1 文中の空欄 a～j を埋めるのに最も適切な語句を記せ（同一記号は同一語句）。

問2 下線部(A)について、

- (1) セルジューク朝最盛期の2代・3代の両 に仕えて官僚機構を整備し王朝の統治に尽力した宰相は、イスラームの高等教育機関としてのマドラサ(学院)を各地に建てたことでも知られる。この宰相の名にちなんだマドラサ(学院)の総称を記せ。
- (2) セルジューク朝は、 朝がはじめた「軍人の忠誠に対する見返りとして俸給の代わりに分与地の徴税権を与え土地の管理を任せるという制度」を引き継ぎ改良して、王朝の支配体制の基盤とした。その後、他のイスラーム王朝にも採用されたこの制度の名称を記せ。
- (3) セルジューク朝の最盛期に暦の制定に携ったイラン系の高名な学者は文学にも秀で優れた詩集を残した。この「学者」の人名とその代表作である「詩集」のカタカナ名称をそれぞれ記しなさい。

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読んで、下記の設問に答えよ。

18世紀後半から19世紀にかけ、世界に先駆けて [a] において綿工業を中心に産業革命が起きた。具体的には、生産の過程における技術革新に伴い、それまでの手工業から [b] 制工業への移行が生じ、生産量が飛躍的に増大した。また、蒸気船や [c] などの交通機関の発達につれて、農村から都市への人びとの移動が生じ、資本家が経営する工場で働く大量の賃金 [d] が生まれた。このような産業革命と呼ばれる社会の構造的な変化は、その後、^(B)フランス、ドイツなどのヨーロッパ諸国や世界へと波及していった。その結果、低賃金、過重な労働、貧富の差の拡大など、多くの社会問題が主に都市部において顕在化することになった。

こうした社会状況を背景に、^(C)マルクスは資本主義を批判し、社会主義の実現に向けて多くの論考を残した。その代表的な著作である『 [e] 』では、弁証法的唯物論によって資本主義社会の矛盾を考察し、社会主義社会が到来する必然性を論じた。また、[f] もマルクスと共同で『 [g] 宣言』を執筆し、階級闘争と革命の必要性を論じ、[d] の団結を呼びかけた。

20世紀に入り、ドイツではマックス＝ヴェーバーが、『 [h] の倫理と資本主義の精神』において、宗教が資本主義の発展に与えた影響を分析した。ヴェーバーはカルヴァン派の倫理に着目し、人が救われるか否かは神によってあらかじめ定められているとする [i] 説や、神に与えられた天職などの考え方が、資本家に勤勉と節約を促し、資本の形成と拡大再生産による資本主義の発展を支えたと論じた。

これらの社会思想家たちは、産業革命後の資本主義社会の問題を分析しており、その後の社会科学の発展における重要な礎石となった。彼らが示した洞察は、現代の社会問題を理解し、解決策を模索するための道標として、現在も影響を与え続けている。

問1 文中の空欄 a～i を埋めるのに最も適切な語句を記せ(同一記号は同一語句)。

問2 下線部(A)について,

綿工業中心の産業革命期にニューラナークの紡績工場において、労働者の福祉を重視した経営を行い、彼らの生活や教育をめぐる環境の改善に尽力した人物は誰か。

問3 下線部(B)について,

フランスの産業革命期において、初期の社会主義者として、搾取のない理想の産業社会を構想し、第二帝政期の経済政策に影響を与え、新キリスト教を提唱した人物は誰か。

問4 下線部(C)について,

- (1) マルクスに先行する社会主義者として、理想的な協同組合的ユートピアである「ファランジュ」の構想を示した人物は誰か。
- (2) マルクスの論争相手として同時代を生き、『所有とは何か』という著作を通して、資本主義社会における「所有」の概念を批判的に検討した人物は誰か。

〔Ⅳ〕 つぎの文章を読んで、下記の設問に答えよ。

第二次世界大戦期に協調関係にあったアメリカ合衆国（アメリカ）とソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）は戦後^{たもと}袂を分かち、1940年代後半以降の世界情勢は、前者の資本主義陣営（西側諸国）と後者の共産主義陣営（東側諸国）の対立を基軸に展開する。

「冷戦」と呼ばれるこの緊張状態は欧州で始まった。アメリカ大統領 [a] が、1947年3月に [b] やトルコなどでの共産主義勢力の拡張に対する「封じ込め」政策を宣言すると、[a] 政権のマーシャル国務長官は、欧州諸国に経済援助を約束するマーシャル＝プランを6月に発表した。このような動きに対抗するため、ソ連は9月に [c] を結成して東欧諸国等の結束を図った。

アメリカは、欧州以外でも、ソ連による東側諸国への覇権の強化に対抗する施策を次々と打ち出した。例えば、1948年に中南米諸国とともに [d] (OAS) を、1955年にはトルコ・イラク・イラン・パキスタン・[e] から成るバグダード条約機構 (METO) を発足させた。

この間の [f] 年に、日本は、交戦国であった中国やソ連などを除く国々とサンフランシスコ平和条約に調印して独立を回復した。同条約及び、同時に締結した日米安全保障条約によって、日本は西側諸国の一員と見なされるようになった。

このように二極化が進展する世界情勢は、アメリカ国内にも大きな影響を及ぼした。国内の共産主義者は [g] (CIA) の監視の対象となった。ソ連の核兵器開発の成功や中華人民共和国の成立以降は、反共主義の流れが一層強まり、「赤狩り」が始まった。その一方で、「[h]」と呼ばれる事務系の労働者が工場労働者の数を上回って大衆消費社会が一層発展し、アメリカ式の豊かな生活様式は特に西側諸国の人々の憧れとなっていく。

ソ連では、1953年にスターリンが死去した後、統制や規制の緩和傾向が起こり、社会に解放感が生まれた。計画経済は維持され、工業生産の回復と拡大が一貫して目指されながらも、対外的には西側諸国との平和共存が掲げられるようになった。このような変化は、一般に「[i]」と呼ばれる。1960年にはソ連上空でアメリカのU2型偵察機が撃墜される事件が発生し、再び冷戦の緊張が高まったが、そのよう

な状況下で 1962 年に核戦争勃発の可能性を露わにした [j] が起こると、これをきっかけに両国をはじめとする国際社会は核兵器の制限・管理に取り組み始めた。翌年に [k] 条約がアメリカ・ [e] ・ソ連の間で締結され、1968 年には核拡散防止条約 (NPT) がこれら 3 国を含む 62 カ国によって調印されたのである。

問 1 文中の空欄 a ~ k を埋めるのに最も適切な語句を記せ (同一記号は同一語句)。

問 2 下線部 (A) について、

この条約によって、日本は、日露戦争の結果獲得したある地域を放棄することになった。この地域の名を記せ。

問 3 下線部 (B) について、

この反共扇動活動を主導した共和党の上院議員の名を記せ。

問 4 下線部 (C) について、

当時この国の大統領であった人物の名を記せ。

問 5 下線部 (D) について、

この条約では 5 カ国に核保有が認められたが、そのうちの 1 つに数えられる国をつぎの (イ) ~ (ニ) から 1 つ選び、記号で答えよ。

(イ) イスラエル (ロ) インド (ハ) 中国 (ニ) 西ドイツ